

製品名: CYP2D6 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab09656**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	55kDa

抗原情報

遺伝子名	CYP2D6
別名	CYP2D6; CYP2DL1; Cytochrome P450 2D6; CYP2D6; Cytochrome P450-DB1; Debrisoquine 4-hydroxylase
遺伝子 ID	1565.0
SwissProt ID	P10635
免疫原	抗血清はヒトシトクロム P450 2D6 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 251-300

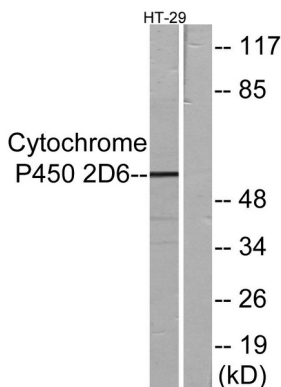
背景

この遺伝子は、シトクロム P450 スーパーファミリーに属する酵素をコードしています。シトクロム P450 タンパク質はモノオキシゲナーゼであり、薬物代謝やコレステロール、ステロイド、その他の脂質の合成に関わる多くの反応を触媒します。このタンパク質は小胞体に局在し、一般的に処方される薬剤の最大 25% を代謝することが知られています。その基質には、抗うつ薬、抗精神病薬、鎮痛薬、鎮咳薬、β 遮断薬、抗不整脈薬、制吐薬などがあります。この遺伝子はヒト集団において高度に多型性を示し、特定の対立遺伝子は、酵素の基質を代謝する能力が低下する低代謝型表現型を引き起こします。低代謝型表現型を持つ人の中には、ヌル対立遺伝子を 2 つ持つため機能的なタンパク質を持たない人もいますが、他の人はこの遺伝子を欠いています。この遺伝子は、触媒活性を変化させることができます： $RH + \text{還元フラビントタンパク質} + O(2) = ROH + \text{酸化フラビントタンパク質} + H(2)O$ 。、補因子：ヘム基。、機能：酸化する多くの薬物や環境化学物質の代謝を担います。抗不整脈薬、アドレナリン受容体拮抗薬、三環系抗うつ薬などの薬物の代謝に関与しています。、誘導：妊娠による。、オンライン情報：CYP2D6 アレル, オンライン情報：CYP2D6 エントリ, 多型：アレル CYP2D6*7 は CYP2D6E、アレル CYP2D6*9 は CYP2D6C、アレル CYP2D6*10 は CYP2D6J、アレル CYP2D6*17 は CYP2D6Z と呼ばれていました。、多型：CYP2D6 の遺伝的変異は、薬物代謝不良の原因です CYP2D6 関連[MIM:608902]。CYP2D6 遺伝子は高度に多型性です。CYP2D6 の活性は、超速代謝型 (UM)、高代謝型 (EM)、中代謝型 (IM)、低代謝型 (PM) の表現型を持つ集団内で幅広く分布しています。UM と PM は、それぞれ治療失敗または用量依存的な薬物毒性のリスクが最も高い集団です。ヨーロッパと北米のコーカサス人集団のうち、5%~10% が PM 表現型であり、抗過敏薬デブリスキンをはじめとする多くの薬物を代謝することができません。、多型：アイソザイム CYP2D6.45 (Lys-155、Cys-296、Thr-486) と CYP2D6.46 (His-26、Lys-155、Cys-296、Thr-486) は機能的です。、類似性：シトクロム P450 ファミリーに属します。、

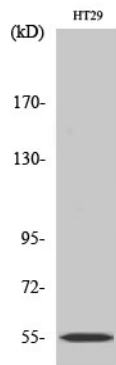
研究分野

薬物代謝

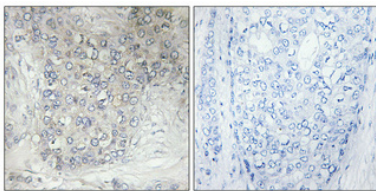
画像データ



シトクロム P450 2D6 抗体を用いた HT-29 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



CYP2D6 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析



パラフィン包埋ヒト乳がんの免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4℃、一晩) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。